

普及項目	担い手
漁業種類等	-
対象魚類	-
対象海域	八代海、天草海

新規就業者へのマッチング支援の取組み

水産研究センター企画情報室・藤堂 美咲

【背景・目的・目標（指標）】

本県では、新規漁業就業者の確保を推進するため、平成 25 年度（2013 年度）から、当センターに漁業学校に準じた研修体制を整備した。また、平成 28 年度（2016 年度）からは、熊本県漁業協同組合連合会を中心に、関係市町、県の行政及び普及担当で構成される熊本県漁業就業支援協議会（以下「協議会」という。）が、国の長期研修支援制度を活用し、未経験者でも円滑に漁業に就業できるよう、受け入れ体制を整備し、関係機関と連携して長期研修を実施している。

【普及の内容・特徴】

水産研究センターでは、協議会の会員として、また水産業普及指導員として、就業希望者が国の長期研修支援制度を開始できるよう、関係機関と連携しながら取り組み、令和 6 年度（2024 年度）は、6 名が長期研修支援制度を開始することができた（漁船漁業 3 名、養殖業 3 名）。

【成果・活用】

1 新規就業希望者への対応状況の共有

令和 6 年（2024 年）5 月に新規就業者リスト（エクセル記録表）を作成し、毎月末に各機関に照会し、結果をとりまとめることで、新規就業者への対応状況（漁協とのマッチングや研修・支援事業の利用状況）について情報共有ができるようになった。

また、11 月からはノーコードアプリによる管理アプリを作成し、利便性を高めた。

2 全国漁業就業支援フェアへの出展

令和 6 年（2024 年）7 月に福岡県で開催された、全国漁業就業支援フェア（福岡会場）において、真珠養殖業と天草市牛深地区のキビナゴ刺し網漁業について漁協職員及び市職員とブースを設置し、就業希望者の就業相談に対応した。当日は、来場者 58 名中 5 名が本県ブースを訪問した。

3 体験漁業の実施

フェアで相談対応した 5 名のうち、希望者 2 名について、令和 6 年（2024 年）6 月 25 日～26 日に、真珠養殖業の体験漁業を関係機関と連携して実施した。具体的には、御所浦町の真珠養殖業者 2 名のアコヤガイ稚貝の養殖筏、核入れ作業、沖出ししたアコヤガイの養殖状況等を視察し、質疑応答等を行った。体験漁業を通じて、2 名のうち 1 名については、令和 6 年（2024 年）10 月 1 日から真珠養殖業（独立型）の長期研修開始に繋がった。

4 アンケート結果を利用した指導漁業者とのマッチング

以前、上天草市大矢野地区で、一本釣り漁業の就業希望者について、指導漁業者の確保に難航した経緯を踏まえ、令和5年度（2023年度）に協議会が実施した漁船漁業における継承についてのアンケートで「指導してもよいと回答した者」の中で指導漁業者に適当と思われる漁業者を、上天草市職員、漁協職員と協議の上、年齢・所在地・人柄等を踏まえて数名選考し、うち、1名から了承を得ることができた。その後、指導漁業者、就業希望者、漁協、市と打合せを行い、審査会等を経て、令和6年（2024年）12月1日から希望者の長期研修開始に繋げ、効果的なマッチングを行った。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図1 全国漁業就業支援フェアのブース（1）



図2 全国漁業就業支援フェアの様子（2）



図3 アコヤガイ稚貝筏見学の様子



図4 アコヤガイ核入れ作業見学